

3 岐阜県工業用水道事業の業務の状況

可茂地域は、東海環状自動車道東回りの整備開通に伴い、交通の利便性が格段に向上し、安定した地盤など立地に恵まれた環境であることから企業進出が進んでいます。

可茂工業用水道事業については、美濃加茂市・坂祝町の企業へ給水を行っており、今後も水需要を見極めながら、新規需要の開拓に引き続き最善の努力をする方針です。

令和2年度（上半期）の状況

1 概 況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
契約企業数	11 社	11 社	0 社	100.0 %
契約水量	4,248m ³ /日	4,080m ³ /日	168m ³ /日	104.1 %

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は8.3%の増加、費用は3.0%の減少となっています。収益の増加については、契約水量の増加によるものです。

経理の状況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
	円	円	円	%
収 益	42,474,206	39,228,372	3,245,834	108.3
費 用	8,392,155	8,648,612	△ 256,457	97.0
差 引	34,082,051	30,579,760	3,502,291	111.5

(減価償却費を除く。)

令和2年度岐阜県工業用水道事業残高試算表

(令和2年9月30日現在)

(単位：円)

1,665,263,357	固 定 資 産	
1,437,645,259	有 形 固 定 資 産	
227,618,098	無 形 固 定 資 産	
120,974,067	流 動 資 産	
72,709,869	現 金 預 金	
7,779,695	未 収 金	
40,099,500	前 払 金	
385,003	そ の 他 流 動 資 産	
	固 定 負 債	617,020,877
	企 業 債	143,740,834
	他 会 計 借 入 金	471,194,701
	引 当 金	2,085,342
	流 動 負 債	31,997,942
	企 業 債	22,402,839
	他 会 計 借 入 金	3,861,276
	そ の 他 流 動 負 債	4,244,827
	引 当 金	1,489,000
	繰 延 収 益	269,165,965
	長期前受金*1	430,634,084
161,468,119	長期前受金収益化累計額*2	
	資 本 金	714,815,282
	剰 余 金	119,155,307
	資 本 剰 余 金	76,293,396
	利 益 剰 余 金	42,861,911
	工業用水道事業収益	42,474,206
	営 業 収 益	42,448,435
	営 業 外 収 益	25,771
8,392,155	工業用水道事業費用	
6,256,240	営 業 費 用	
2,135,915	営 業 外 費 用	
1,794,629,579	合 計	1,794,629,579

令和元年度岐阜県工業用水道事業決算について

令和元年度は、美濃加茂市内の企業10社及び坂祝町内の企業1社に対して給水を行いました。

1 給水量

年間給水量は、9.6%の増加となりました。

給 水 実 績

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	対前年比率
	m ³	m ³	m ³	%
可茂工業用水道事業	1,464,451	1,336,056	128,395	109.6

2 収益的収入・支出

事業収益は、前年度に比べ9.8%の増加となりました。これは主に、給水収益や長期前受金戻入の増加によるものです。

また、事業費用は、前年度に比べ7.5%の増加となりました。これは主に、人件費や減価償却の増加によるものです。

以上の結果、当年度純利益は23,167,657円となりました。

収益的収入・支出

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
工業用水道事業収益	93,731,348	85,364,445	8,366,903	109.8
営業収益	79,074,349	75,622,605	3,451,744	104.6
営業外収益	14,656,999	9,548,856	5,108,143	153.5
特別収益	0	192,984	△ 192,984	皆減
工業用水道事業費用	70,563,691	65,670,191	4,893,500	107.5
営業費用	65,528,398	59,636,819	5,891,579	109.9
営業外費用	5,035,293	6,033,372	△ 998,079	83.5
当年度純利益	23,167,657	19,694,254	3,473,403	117.6

3 資本的収入・支出

資本的収入は、前年に比べ29.1%の減少となりました。これは、出資金収入の減少によるものです。また、資本的支出は、前年度に比べ0.4%の増加となりました。これは、長期借入金償還金の増加によるものです。

資本的収入・支出

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
資本的収入	4,722,000	6,660,000	△ 1,938,000	70.9
出資金	4,722,000	6,660,000	△ 1,938,000	70.9
資本的支出	63,816,405	63,563,521	252,884	100.4
建設改良費	17,008,880	18,026,600	△ 1,017,720	94.4
企業債償還金	43,525,149	42,527,070	998,079	102.3
長期借入金償還金	3,282,376	3,009,851	272,525	109.1
差 引	△ 59,094,405	△ 56,903,521	△ 2,190,884	103.9

令和元年度岐阜県工業用水道事業損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
給水収益	<u>79,074,349</u>	79,074,349	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費*3	12,187,377		
(2) 総係費*4	2,845,905		
(3) 減価償却費*5	44,957,270		
(4) 資産減耗費*6	<u>5,537,846</u>	<u>65,528,398</u>	
営業利益			13,545,951
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	63,493		
(2) 長期前受金戻入*1	11,271,999		
(3) 雑収益	<u>3,321,507</u>	14,656,999	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	<u>5,035,293</u>	<u>5,035,293</u>	<u>9,621,706</u>
経常利益			23,167,657
当年度純利益			23,167,657
前年度繰越利益剰余金			<u>0</u>
その他未処分利益剰余金変動額			<u>19,694,254</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>42,861,911</u></u>

令和元年度岐阜県工業用水道事業貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固定資産		
(1)	有形固定資産		
イ	土地	284,693,224	
ロ	構築物	1,697,341,831	
	減価償却累計額	<u>△ 626,961,612</u>	1,070,380,219
ハ	機械及び装置	46,975,193	
	減価償却累計額	<u>△ 30,767,301</u>	16,207,892
ニ	工具、器具及び備品	45,000	
	減価償却累計額	<u>△ 30,375</u>	14,625
ホ	建設仮勘定*7	<u>66,349,299</u>	
	有形固定資産合計		1,437,645,259
(2)	無形固定資産		
イ	ダム使用権	<u>226,082,643</u>	
	無形固定資産合計		<u>226,082,643</u>
	固定資産合計		1,663,727,902
2	流動資産		
(1)	現金預金		102,344,930
(2)	未収金		<u>7,442,420</u>
	流動資産合計		<u>109,787,350</u>
	資産合計		<u>1,773,515,252</u>
		負 債 の 部	
3	固定負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>143,740,834</u>	
	企業債合計		143,740,834
(2)	他会計借入金		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	<u>471,194,701</u>	
	他会計借入金合計		471,194,701
(3)	引当金*8		
イ	退職給付引当金	1,683,344	
ロ	その他引当金	<u>401,998</u>	
	引当金合計		<u>2,085,342</u>
	固定負債合計		617,020,877
4	流動負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>44,547,145</u>	
	企業債合計		44,547,145

(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金 他会計借入金合計	<u>3,861,276</u>	3,861,276	
(3) 未払金		3,553,275	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	487,476		
ロ その他引当金	<u>1,489,000</u>		
引当金合計		<u>1,976,476</u>	
(5) その他流動負債		39,649	
流動負債合計			53,977,821
5 繰延収益			
長期前受金*1		430,634,084	
収益化累計額*2		<u>△161,468,119</u>	
繰延収益合計			<u>269,165,965</u>
負債合計			<u>940,164,663</u>

資 本 の 部

6 資本金			714,195,282
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ その他資本剰余金	<u>76,293,396</u>		
資本剰余金合計		76,293,396	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>42,861,911</u>		
利益剰余金合計		<u>42,861,911</u>	
剰余金合計			<u>119,155,307</u>
資本合計			833,350,589
負債資本合計			<u>1,773,515,252</u>

* 1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

* 2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

* 3 原水及び浄水費

主に工業用水を作ったり、施設を維持するための費用です。

* 4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

* 5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

* 6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上します。

* 7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定科目（建設仮勘定）で整理します。

* 8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。

工業用水道事業会計には退職給付引当金と賞与引当金、その他引当金の三つがあります。